

出会いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報課まで（☎65-6504）。
※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 合唱団「輝らりキッズ」

〈指導者〉野々垣恵信さん、福永早苗さん、西川京子さん、上田直子さん
連絡先：福永さん(☎62-7458)

活動場所 長浜公民館3階ホール

活動日時 毎週土曜日 13時30分～15時30分



▲びわ湖ホール ラ・フォル・ジュルネ出演の様子

活動PR

輝らりキッズは、昨年創立30周年を迎えた伝統ある少年少女合唱団です。美しい歌声は今に引き継いでいます。団員は湖北地域の保幼小中から集まっていますが、みんな仲良く練習しています。

毎年12月には定期演奏会を開催し(今年は12月6日)、滋賀県少年少女合唱祭、長浜音楽祭、ゆかた祭りなどへの出演のほか、ご依頼があるとおこたえしています。

昨年は、びわ湖ホールの「ラ・フォル・ジュルネ」やオペラ「天国と地獄」に出演させていただくことができ大きな感動を味わいました。

歌の好きな子どもたち、私たちと一緒に歌いませんか。お待ちしております。

5月9日(土)、10日(日) 魅力たっぷり湖北路ウオーク

初夏の湖北路を歩く人気イベント「びわ湖長浜ツーデーマーチ」が二日間にわたり開催されました。23回目を数える今回は県内外から3,290人が参加。

美しい自然や街並み、歴史の名所や観音さまを巡るコースなど9コースが用意され、参加者らは自然を堪能しながら、それぞれのペースでゴールをめざし、心地よい汗を流しました。



5月10日(日) かつての大舞台で 戦乱の世に思いを馳せる

豊臣秀吉と柴田勝家が覇権を争ったことで知られる賤ヶ岳を舞台に、31回目となる「賤ヶ岳まつり」が開催されました。

山頂ではガイドによる賤ヶ岳合戦史談会が、また麓ではステージイベントや模擬店が催され、湖北地域を中心に活動する「ピュアプラス」や木之本中学校吹奏楽部の演奏のほか、Can'ce♡浜姫やよさこいチーム「天舞賤ヶ岳」、お笑い芸人をつくる「戦国戦隊六文ジャー」らが会場を沸かせました。

5月3日(日・祝) 大空を翔る願いとこいのぼり

子どもたちの健やかな成長を願い開催された「高月こいのぼりまつり」。高時川堤防沿い約600mにわたり450匹のこいのぼりが揚げられたほか、東日本大震災の被災地復興への思いを込めた全長50mのジャンボこいのぼりがクレーン車で吊り上げられると、観客から歓声が上がりました。

また、会場では各種模擬店や60を超えるフリーマーケット、今回初登場のロードトレインなどが訪れた人を楽しませました。



5月3日(日・祝) スポーツに国境はなし

市内在住の外国人が中心となり立ち上げたサークルNagahama International community (NIC)が、初めて「国際交流スポーツ大会」を企画し、神照小学校で開催しました。ソフトバレーボールやドッジボール、大縄跳びなど7種目が用意され、子どもから大人まで3か国約80人が参加。言葉の壁を越え、皆でスポーツを楽しみながら交流を深めました。

NICでは今後も国籍を問わず一緒になって楽しめるイベントを企画していくということです。

5月3日(日・祝)、4日(月・祝) 五穀豊穡と天下泰平を願う神仏一体の祭礼

起源を安土桃山時代に遡る日枝神社(宮司町)の春季祭礼。祭礼では、神輿が御旅所と総持寺を往復する神輿巡行があり、約60人の担ぎ手が町内を練り歩きました。神輿は、山王神輿と呼ばれ、その重さは約1.5トン、天明5年(1785年)に完成したといわれています。神輿の先頭は、子どもたちが挟み箱、母衣武者、稚児をつとめ、集まった観客らから声援を浴びていました。



5月4日(月・祝) 神輿が勇壮に練り歩く

北国街道の風情ある街並みに、威勢のよいかけ声。木之本町木之本で今年も秋葉祭が行われました。130年ほど続くこの祭は、江戸時代に2度の大火事が起こり、火伏の神様をまつる秋葉山本宮(浜松市)から分霊を授かったことが始まりとされます。

祭りは意富布良神社内で神事を行った後、140人ほどの男衆が重さ2tの神輿を担ぎ、所々設けられた「宿」で休憩をはさみながら、地域の防火を祈願し町内を半日がかりで練り歩きました。